

ガバナンス

社会から信頼され持続的な成長ができる会社

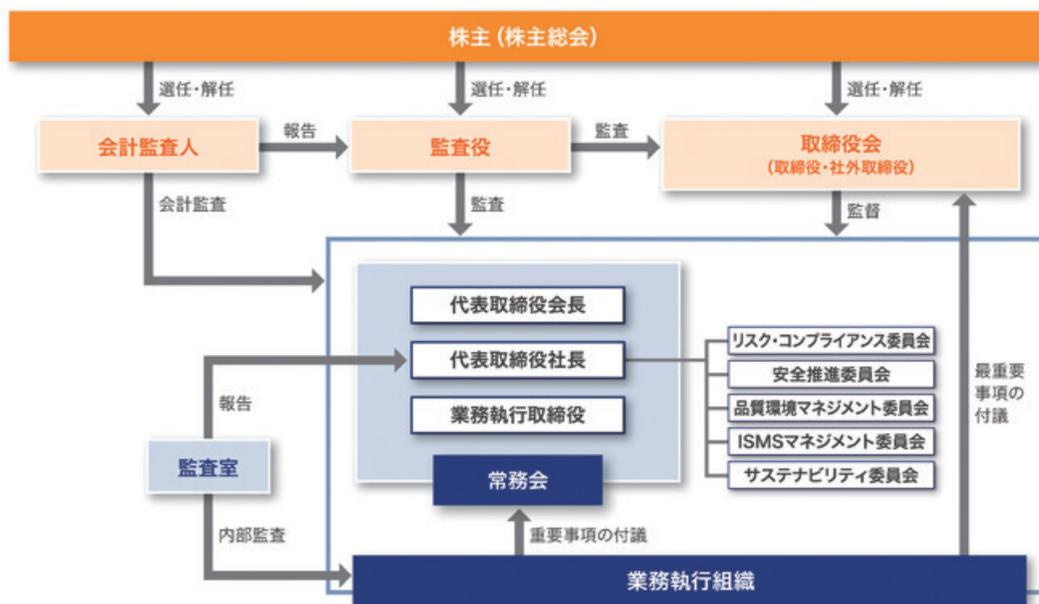
私たちが扱う化学品は、社会により豊かさや幸せを与えるものであり、その化学品産業の基幹をなすのが私たち物流事業です。物流業が産業の基幹をなしていることに誇りを持ち、社会的責任を果たします。

NRSグループの事業活動の基盤は「NRSグループ企業倫理綱領」です。「倫理に基づく行動」「法の遵守」「安全の重視」を基本に、主体性と自己責任に基づく良識ある公正な行動によりエクセレント・カンパニーとして広く社会から支持されることを目指します。

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

倫理に基づく行動と法の遵守、安全品質を徹底します。そして私たちは多様な人格と個性を尊重し、顧客、取引先、社員、株主を含む全てのステークホルダーとの健全で良好な関係を築きます。これらを実現するため、健全でかつ透明、公正、迅速な意思決定を行う最適なコーポレートガバナンスの追求をし続けます。

コーポレートガバナンス体制図



取締役会

取締役および、監査役で構成され、法令、定款および「取締役会規程」に定められた事項について決議を行い、諸規程、制度に基づき業務上の重要事項の執行について承認または決定を行うとともに、取締役の業務執行状況を監督します。

常務会

取締役会決議事項について事前審議を行い、取締役会決議事項以外の重要事項を決議します。



監査役

取締役の職務の執行を監査し、会社の会計監査を行うとともに取締役会に出席し、意見を述べます。

監査室

業務執行部門から独立した立場で、業務の合規性・効率性・経済性・有効性を検証および評価し、その結果を取締役会等に報告します。監査役の職務執行について、その指示に従い補助業務を行います。

内部統制・法務・リスク管理部

NRSグループの内部統制システムの構築と運用管理、および経営リスクに関する情報収集・分析ならびに対応への取り組みに関する管理全般を行います。

リスクマネジメント

リスクを横断的に管理する社長直轄体制として、①リスク管理およびコンプライアンスの適切な執行の監督に関する情報の共有化および強化に向けて議論する場としての「リスク・コンプライアンス委員会」、②情報機器管理に関するISO27001認証のもとでの、「ISMSマネジメント委員会」を設置しています。

リスク・コンプライアンス委員会

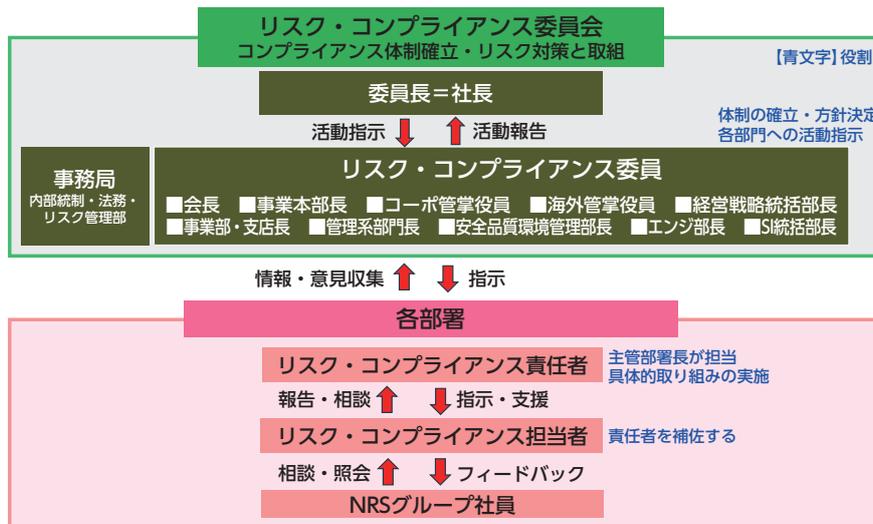
リスク・コンプライアンス委員会は、NRSグループにおける下記1～5の実施を目的に設置しています。

1. リスク管理およびコンプライアンスに関する意識向上の推進
2. コンプライアンス体制の確立と実践
3. グループ全体のリスク対策のための活動方針の決定
4. 各部門への活動指示ならびに活動状況の報告・確認
5. 事業継続計画（BCP）の維持・更新、取り組み浸透の教育訓練、継続的改善に必要なマネジメント活動

2025年9月期は、年間で2回開催、下記取り組みを行い、取締役会で報告をいたしました。

- ・国内外各組織が直面する主要リスクとその取り組み状況の共有化
- ・2025年5月に発生した「サーバーへの不正アクセス案件」について、対策検討および議論
- ・経営危機管理規程の整備
- ・BCPの見直し作業（国内・海外）

NRSグループ リスクコンプライアンス委員会体制



BCM活動

危険物・化学製品・薬品等の輸送・保管、およびタンクコンテナ・リースで業界トップレベルのシェアを有するNRSグループは、大規模災害発生時や感染症のリスク下でも事業を早期に復旧し継続することが重大な社会的責任と考えています。当社グループでは、リスク・コンプライアンス委員会において①社員およびその家族・来訪者の安全の確保、②顧客への供給責任を果たし信用を維持する、③経営を早期に安定させ、雇用を守ることを目的としたBCM活動を展開し、「事業継続計画（BCP）」を点検・見直すことで、継続的にサービス・製品を顧客に提供できる体制をとっています。

情報セキュリティ

2020年の情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）確立以来、社員への情報セキュリティハンドブックの周知徹底、多要素認証によるアカウント管理、PCやサーバーなどのエンドポイント対策、ゼロトラストツールの導入などで人・機械の両面での対策を講じてきましたが、2025年5月に不正アクセスを受けました。幸いにも情報漏洩は確認されていませんが再発防止のためにネットワーク環境を大幅に見直しました。今後も顧客の大切な情報を絶対に漏洩させない、高度な物流を支えるシステムを止めないという考えのもと、セキュリティレベルのさらなる向上に努めてまいります。

緊急事態への対応

当社では緊急事態に備えて毎年、乗務員を中心とした社員向けに「無水フッ酸安全講習会」を開催しています。無水フッ酸のISOタンクコンテナ輸送業務は、当該製品の性状から、輸送途上の事故が重大災害につながる可能性があります。本年度も川崎、神戸、北九州の各事業所で開催しました。第一部は外部講師をお招きしての座学、第二部は緊急時対応訓練および空気呼吸器装着演練を行っています。



能登会長の挨拶



緊急時対応訓練（空気呼吸器装着演練）

コンプライアンスの徹底

内部・外部通報窓口

倫理綱領、法令、社内規程等に違反した行為、または、違反の疑いがある行為を早期に発見し是正を図るための内部通報窓口、および当社役職員によるコンプライアンスに反する行為や人権侵害にあたる行為に対し、迅速な対応と救済を目的とした外部通報窓口を設置しています。

- ・内部通報窓口：国内外弁護士事務所に通報窓口を設置し、社員へ通知。国内は内部統制・法務・リスク管理部内にも窓口を設置
- ・外部通報窓口：国内外弁護士事務所に通報窓口を設置し、NRSグループホームページに掲載
- ・通報・告発者の権利保護：公益通報者保護規程にて規定し、ホームページに記載

新輸出入管理体制による安全保障貿易管理の強化

国際社会が取り組む大量破壊兵器や関連貨物の不拡散という重要課題を会社として再認識し、安全保障貿易管理を強化するための取り組みを行っています。

1. 最新法令に準拠した安全保障輸出管理規程により、組織体制、手続き、監査、教育、文書管理など管理体制を明確化しています。
2. 輸出承認手続きをシステム化（名称：楽々ワークフロー輸出管理）。輸入記録も含め、WEB上で文書ペーパーレス管理を行っています。
3. 定期的な国内全社員対象のWEB勉強会による意識向上に努めています。
4. 法令改正情報の入手と適時の伝達。今後は内部監査により、さらなる改善を図っていきます。

各種研修・eラーニング

昨今の企業不祥事や、社会規範軽視によるコンプライアンス違反の増大を鑑み、当社社員のリテラシーを高めるため、国内社員を対象に「コンプライアンス研修 企業倫理eラーニング」を実施しました。また、NRSグループ社員としてのコンプライアンス意識向上のため、階層別研修を実施しました。

企業倫理に関する教育の実施

2025年度 eラーニング：企業倫理（国内全社員対象）受講率97%（924名/951名中）

新入社員コンプライアンス研修
部門別・海外赴任者向けコンプライアンス研修

2024年度 eラーニング：贈収賄防止（国内全社員対象）受講率90%（875名/973名中）

新入社員コンプライアンス研修
階層別コンプライアンス研修

